

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コスモケア・サポート KOKO		公表日			2025 年 2 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	適切なスペースではあるが、機能訓練室に物が置いてあるため整理していく。無回答1	適切なスペースではあるが、機能訓練室に物が置いてあるため整理していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	職員の配置数は適切だが、利用者様や利用日数が増えてきているので職員も募集していく。(常時4～5名)	職員が少ないと感じる時もある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日の掃除や換気をこまめに行っている。季節ごとに壁や窓などの飾りつけを変えて工夫している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	無回答1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	無回答1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	無回答2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	無回答1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	無回答1	第三者評価は行っていない。無回答1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	スタッフにお知らせして、参加可能な研修には参加している。無回答1			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	送迎時や連絡帳を使って保護者様と情報交換し、作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティング等を開催し、そこで付議している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	保護者様に「サポートブック」の記載を依頼し、状態の把握に努めている。無回答1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	無回答1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	季節ごとの行事を職員間で話し合い行っている。無回答1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	絵本、音の鳴るおもちゃ、シーツブランコ、手袋シアター、ボール遊びなど固定化しないよう工夫している。無回答1			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	kokoの会での絵本や音楽活動等の集団活動や、個別の機能訓練などの個別活動を組み合わせる計画を立てている。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	毎回必ず行われていないが、必要な時には情報交換や振り返りはしている 支援前の打ち合わせ無したが、医ケア児の役割分担をして責任を持つようになっている 無回答1	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	必ずではないが、気付いた時に共有するようになっている。 無回答1	忙しくてできない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	個別記録や看護記録は毎日記録し、徹底している。 利用者様の連絡ノートやご家族とコミュニケーションを取り、改善している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	重度障害の子供達のため必ず看護師の同席と、必要に応じてOT・PTも参加することがある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	送迎時に情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	0	無回答3	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2	無回答3	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		無回答3	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡ノート、送迎時、必要時には電話で伝え情報共有している。無回答1	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	運営規定、利用者負担等は利用開始時に行っている。支援内容は日々の連絡ノートや送迎時にお伝えしている。 無回答1
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1	送迎時に支援に対する思い等を聞き、もう少しでできる事などを計画に入れている。支援内容の説明、内容確認上、同意を得ている。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	子育て、家庭の悩みなど相談に応じてチームで支援をしている。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	利用者のほとんどが同じ学校に通われており、顔見知りの保護者様も多いため、事業所からはあまり支援していない。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談を受けたことに対しては、速やかに職員間で共有できるよう連絡ノートやミーティングを行っている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	送迎時や季節ごとにInstagramやkoko新聞を発行し、活動報告を行っている。連絡体制等の情報は変更があった際に配布してお知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	写真・名前の掲示については保護者の許可を得て行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	体調の変化や出来事は連絡帳や送迎時に情報伝達している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	事業所に音楽の先生を招待し音楽療法を行っている。また、事業所近くの散歩活動や外出した際に地域の方と声かけなどで交流し事業所を知って頂けるよう努めている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		耐震診断の必要性があるにも関わらず予算の関係で行っていない事業所に大切な児童を預かっている現状に不安を感じます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	無回答 1	定期的に避難訓練は行えていない。利用者さんを交えての訓練実施は1度も行っていないが、具体的な問題も見つかれば実施は大切。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	サポートブックや連絡ノート、送迎時、お電話などで保護者様と情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師の指示書や保護者様と情報共有し、注意している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット集の作成を行い、事業所の連絡ノートやミーティング等で職員と情報共有し、事故防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束になり得る行為について保護者様に了承を得ている。	